

## 1992年度事業報告

1	会員数の動向 (1992年 3月31日現在)		
	会員数合計	4,276	(昨年より+15)
	個人会員	3,839	(+12)
	一般 A	2,591	(+ 5)
	B	995	(- 8)
	学生 A	150	(+27)
	B	66	(-11)
	名誉会員	4	( 0)
	特別会員	33	(- 1)
	団体会員	437	(+ 3)
	団体 A	126	(+ 6)
	B	174	( 0)
	賛助会員	46	( 0)
	特別会員	91	(- 3)

## 2 機関誌等の刊行

- (1) 天気 39巻4号-40巻3号 12冊(830頁)  
・昨年度より32ページ増。各号約4400部印刷。  
・40巻1号より印刷方式を電算写植に変更するとともに、表紙のデザインも一新した。

- (2) 気象集誌70巻2号-71巻1号6冊(703頁)  
昨年度より11ページ減各号1750部印刷。

## (3) 気象研究ノート

174号「ファジイ理論と気象学」	115頁	1880部	印刷
175号「オゾン研究の展望」	86頁	1830部	印刷
176号「赤道大気上下結合」	165頁	1850部	印刷
177号「大気・雪氷相互作用」	248頁	1830部	印刷
178号「気象とソリトン・モドン-気象現象中の孤立波」(上)	212頁	1850部	印刷

- (4) 予稿集 春季大会 1250部 印刷  
          秋季大会 1150部 印刷

## 3 会議

- (1) 総会 1992年 5月27日 つくば市  
出席者：179名、委任状：827名  
計：1006名

- 7 1991年度事業報告・決算報告、  
1992年度事業計画・予算等が承認された。  
イ 会費値上げに関する「定款の一部改正」  
が承認された。

## (2) 理事会

- 第26期(第5回) 1992年 5月26日 つくば市  
第27期(第1回) 1992年 7月29日 東京  
第27期(第2回) 1992年10月 8日 札幌

## (3) 常任理事会

- 第26期(第15回、16回) 2回 気象学会事務局  
第27期(第1回-5回) 5回 気象学会事務局

## (4) 評議員会

- 第27期第(1回) 1993年 2月 3日  
千代田区立産業会館

## 4 講演会および研究会

- (1) 春季大会 1992年 5月25日-27日  
つくば市：工業技術院

(担当：気象研究所)

シンポジウム「新しい観測システム」

- (2) 秋季大会 1992年10月7日-9日  
札幌市：教育文化会館・厚生年金会館  
(担当：北海道支部)

シンポジウム「都市の豪雪-ここまで  
きた降雪の観測と予測」

## (3) 研究会等

- 7 オゾン研究会 つくば 1992年 5月26日  
イ 同 札幌 1992年10月 8日  
ウ 極域研究連絡会 つくば 1992年 5月25日  
エ 大気-海洋相互作用研究会  
つくば 1992年 5月25日  
オ 同 札幌 1992年10月 6日  
カ 第3回メソ気象研究会  
つくば 1992年 5月25日  
キ 第4回 同 札幌 1992年10月 6日  
ク 第1回G A I M研究連絡会  
つくば 1992年 5月29日  
第2回G A I M研究連絡会  
京都 1992年10月1.2日  
ケ 第3回夏の学校 栗駒山 1992年10月28日

## (4) 月例会等

- 7 第36回山の気象シンポジウム  
1992年 6月20日  
イ 長期予報と大気大循環 1992年10月26日  
ウ レーダー気象 1992年12月15日

## (5) 他学会との共催等

- 7 第29回理工学における同位元素研究発表  
会 1992年 6月29-7月1日
- 4 第38回風に関するシンポジウム  
1992年 3月 6日
- ウ 地球惑星科学関連学会シンポジウム  
「赤道大気上下結合」 1992年 4月 8日
- エ 第15回レ-ダ-センシングシンポジウム  
1992年6月1-2日
- オ 第12回風工学シンポジウム 1992年12月3-4日
- カ 第4回水資源に関するシンポジウム  
1992年8月3-4日
- キ 集中豪雨と洪水に関する国際シンポジウム  
(中国) 1992年10月5-9日

## 5 研究業績の表彰および研究の奨励

## (1) 研究業績の表彰

- 7 日本気象学会賞
- |         |      |
|---------|------|
| 余 田 成 男 | 京都大学 |
| 4 藤 原 賞 |      |
| 松 野 太 郎 | 東京大学 |
- ウ 山 本・正野論文賞
- |       |      |
|-------|------|
| 田 中 博 | 筑波大学 |
|-------|------|
- エ 堀内基金奨励賞
- |         |      |
|---------|------|
| 及 川 武 久 | 筑波大学 |
| 山 田 道 夫 | 京都大学 |

## (2) 奨励金受領者

- |         |         |
|---------|---------|
| 中 田 裕 一 | 益田南高等学校 |
| 川 野 浩 浩 | 網走地方気象台 |
| 今 勝 義   | 函館空港出張所 |

## 6 支部活動

- (1) 北海道支部
- 7 研究発表会(北大) 1992年 6月18日
- 4 講演会 (北大) 1993年 3月26日
- (2) 東北支部
- 7 支部講演会 (仙台) 1992年11月20日
- 4 地方講演会 (秋田) 1992年12月 4日
- (3) 中部支部
- 7 支部総会 (名古屋)1992年 9月16日
- 4 支部研究会 (静岡) 1992年11月25-26日
- (4) 関西支部
- 7 総会・年会 (大阪) 1992年 6月16日
- 4 例会 (京都) 1992年10月23日
- ウ 研究会 (広島) 1992年10月30日
- エ 例会 (高松) 1992年11月25日
- オ 例会 (神戸) 1993年 1月25日
- (5) 九州支部
- 気象講演会 (福岡) 1993年 1月29日
- シンポジウム「いま地球の大気と水は？」  
(福岡) 1992年 8月 6日

## (6) 沖縄支部

- 7 防災気象講演会 (那覇市)1992年 9月22日
- 4 気象研究会 (平良市)1993年 2月24-25日
- 7 普及活動
- (1) 第26回夏季大学  
1992年 8月 3- 5日 気象庁  
「天気予報を支える科学」
- (2) 関西支部第14回夏季大学  
1992年 7月27-28日 大阪市なにわ会館  
「地球温暖化及びオゾン層破壊」
- (3) 北海道支部第10回夏季大学  
1992年 7月30-31日札幌市青少年科学館  
「新しい気象」
- 8 国際学術交流
- ・ 地域別助成金額を定めた
  - ・ 国際学術研究会参加補助
- (1) 篠田雅人(77リカ)第1回77リカ気象学会国際会議
- (2) 永井智宏(77リカ)第16回国際レ-ダ-タ`会議
- (3) 三隅良平(カガ)第11回雲と降水に関する国際会議
- (4) 高橋暢宏(カガ) 同上
- (5) 真木貴史(77リカ)Third CHAMMP WORKSHOP  
for the Numerical Solution of PDE's in  
Spherical Geometry
- (6) 上野健一(ハ`-カ)雪と氷河の水文学に関する国際シンポジウム
- (7) 小司禎教(中国)豪雨と洪水に関する国際シンポジウム

## 9 パソコン通信

- ・ 遠距離利用者の通話料金を軽減するためコールアウト・サービスを開始した。
  - ・ 気象集誌掲載論文一覧をデータベース化した。
- 1 0 I A M A P
- ・ 合同会議を開催することについて'92年 6月30日に閣議了解された
  - ・ シンポジウムのタイトル及びコンビナを決めた。
  - ・ 2nd circularを発行した。
  - ・ 登録受付を開始した。
- 1 1 G A I M研究連絡会が発足した。
- 1 2 事務局が3名体制になった
- 1 3 予算執行基準の見直し
- ・ 理事会等出席旅費規定および各賞「賞金」等の旅費規定を制定し、所属機関より旅費が支給されない場合は、必要額を支給することとした。
  - ・ 春秋学会シンポジウム開催のための費用を学会で20万円まで補助することとした。

収支計算書

勘定科目	予算額 (A)	決算額 (B)	1,992年度		差異 (B-A)	達成率 (B/A)	備考
			1992年4月1日～1993年3月31日				
			内	外			
	公益部門	収益部門					
1. 会費収入	33,844,000	34,840,119	34,840,119		996,119	102.9%	
通常会員	25,026,000	25,071,062	25,071,062		45,062	100.2%	前年度前受会費含む
特別会員	597,000	1,107,582	1,107,582		510,582	185.5%	同上
団体会員	5,292,000	5,892,196	5,892,196		600,196	111.3%	
賛助会員	2,929,000	2,769,279	2,769,279		△159,721	94.5%	
2. 基本財産運用	2,602,000	2,710,050	2,710,050		108,050	104.2%	
一般基金	1,545,000	1,469,260	1,469,260		△75,740	95.1%	基金、藤原、山本・正野、堀内
国際交流基金	1,057,000	1,240,790	1,240,790		183,790	117.4%	
3. 事業収入	34,168,000	32,989,791	12,530,033	20,459,758	△1,178,209	96.6%	
天気	3,900,000	5,119,500	0	5,119,500	1,219,500	131.3%	(収) 広告料、別刷代
気象雑誌	7,400,000	5,496,876	3,736,355	1,760,521	△1,903,124	74.3%	(公) 投稿料 (収) 別刷代
気象研究ノート	11,408,000	8,933,867		8,933,867	△2,474,133	78.3%	
予稿集	5,000,000	4,797,744	4,593,744	204,000	△202,256	96.0%	(収) 広告料
大会開催	1,800,000	1,993,000	1,993,000	0	193,000	110.7%	春秋大会参加費等
教育と普及	700,000	1,229,500	1,229,500		529,500	175.6%	夏季大学受講料、テキスト
ホームページ	0	222,200		222,200	222,200	****	
書店扱	3,200,000	4,219,670		4,219,670	1,019,670	131.9%	
その他事業収入	760,000	977,434	977,434	0	217,434	128.6%	受託業務、刊行物の直接販売
4. 補助金収入	4,080,000	4,080,000	4,080,000		0	100.0%	
科学研究費	4,080,000	4,080,000	4,080,000		0	100.0%	
その他	0	0	0		0	****	
5. 寄付金収入	0	8,100	8,100		8,100	****	
寄付金	0	8,100	8,100		8,100	****	
募金	0	0	0		0	****	
6. 基本財産取崩収入	0	0	0		0	****	
一般基金	0	0	0		0	****	
国際交流基金	0	0	0		0	****	



## 収支計算書

勘定科目	予算額 (A)	決算額 (B)	1. 1992年度		差異 (B-A)	達成率 (B/A)	備考
			公益部門	収益部門			
2. 支出の部(2)							
気象研究ノート	10,775,000	7,427,273		7,427,273	△3,347,727	68.9%	
印刷製本費	8,880,000	6,236,041		6,236,041	△2,643,959	70.2%	174号から178号
編集委員会費	595,000	335,620		335,620	△259,380	56.4%	
原稿料	800,000	238,500		238,500	△561,500	29.8%	
通信運搬費	500,000	617,112		617,112	117,112	123.4%	
予稿集	2,436,000	2,562,063	2,480,363	81,700	126,063	105.2%	(収) 広告経費
印刷製本費	2,005,000	2,075,343	1,993,643	81,700	70,343	103.5%	
通信運搬費	431,000	486,720	486,720		55,720	112.9%	
大会開催	3,002,000	2,492,098	2,492,098		△509,902	83.0%	会場費、運営費
春秋大会	2,700,000	2,181,538	2,181,538		△518,462	80.8%	
その他会合	152,000	160,560	160,560		8,560	105.6%	
講演企画委	150,000	150,000	150,000		0	100.0%	
教育と普及	745,000	995,618	995,618		250,618	133.6%	
委員会	150,000	150,000	150,000		0	100.0%	
夏季大学開催	195,000	221,618	221,618		26,618	113.7%	
支部夏季大学補助	0	0	0		0	****	
夏季大学テキスト	400,000	624,000	624,000		224,000	156.0%	
ペーパーズ	0	30,581		30,581	30,581	****	
表彰・奨励	1,152,000	1,208,490	1,208,490		56,490	104.9%	学会賞、藤原賞各1名
賞金	910,000	710,000	710,000		△200,000	78.0%	
委員会	127,000	102,945	102,945		△24,055	81.1%	
雑費	115,000	395,545	395,545		280,545	344.0%	「賞金」受賞者旅費を含む
国際学術交流	1,220,000	739,730	739,730		△480,270	60.6%	
参加旅費補助	1,200,000	720,000	720,000		△480,000	60.0%	
交流事業	0	0	0		0	****	
委員会費	20,000	19,730	19,730		△270	98.7%	

収支計算書

1992年度 1992年4月1日～ 1993年 3月 31日

1992年度

(円)

2. 支出の部 (3)

勘定科目	予算額 (A)	決算額 (B)	内		訳	差異 (B-A)	達成率 (B/A)	備考
			公益部門	収益部門				
研究連絡会	120,000	90,000	90,000			△30,000	75.0%	
IAMAP運営委	776,000	860,509	860,509			84,509	110.9%	
その他事業費	0	0	0	0		0	****	
受託業務費	0	0	0			0	****	
論文集刊行等	0	0	0			0	****	
その他	0	0	0	0		0	****	
2. 管理費	24,781,000	24,371,908	17,896,769	6,475,139		△409,092	98.3%	
人件費	12,339,000	12,851,303	9,638,477	3,212,826		512,303	104.2%	
職員給料	10,871,000	11,158,559	8,368,919	2,789,640		287,559	102.6%	常勤職員3名
福利厚生費	675,000	655,664	491,748	163,916		△19,336	97.1%	
臨時雇用賃金	793,000	1,037,080	777,810	259,270		244,080	130.8%	天気書記
退職金	932,000	0	0			△932,000	0.0%	
事務局関連経費	5,966,000	6,162,420	4,239,606	1,922,814		196,420	103.3%	
貸借料	800,000	767,520	575,640	191,880		△32,480	95.9%	
光熱水量	180,000	216,176	162,132	54,044		36,176	120.1%	
消耗品	462,000	672,091	504,068	168,023		210,091	145.5%	
什器備品	600,000	1,009,091	374,611	634,480		409,091	168.2%	プリンター2台など
借料	210,000	200,652	150,489	50,163		△9,348	95.5%	
通信運搬費	1,210,000	1,004,320	753,240	251,080		△205,680	83.0%	電話料を含む
印刷製本費	700,000	1,022,990	767,242	255,748		322,990	146.1%	
旅費交通費	10,000	3,080	2,310	770		△6,920	30.8%	
会議費	10,000	8,000	6,000	2,000		△2,000	80.0%	
交際費	100,000	94,530	70,897	23,633		△5,470	94.5%	
手数料	300,000	242,943	182,207	60,736		△57,057	81.0%	振込、会費のクレジット利用
事務委託費	1,000,000	593,527	445,145	148,382		△406,473	59.4%	機関誌発送
諸会費・謝金	284,000	257,500	193,125	64,375		△26,500	90.7%	会計士謝金、労働保険協会等
その他	100,000	70,000	52,500	17,500		△30,000	70.0%	

## 収支計算書

勘定科目	予算額 (A)	決算額 (B)	内 訳		1,992年度 差異 (B-A)	達成率 (B/A)	備 考
			公益部門	収益部門			
2. 支出の部 (4)							
パソコン通信	643,000	647,870	485,902	161,968	4,870	100.8%	
電算機開発管理	700,000	311,826	233,869	77,957	△388,174	44.5%	
総会・役員会	875,000	825,581	619,185	206,396	△49,419	94.4%	
選挙費用	800,000	1,079,058	809,293	269,765	279,058	134.9%	
支那交付金	2,520,000	2,493,650	1,870,237	623,413	△26,350	99.0%	
租税公課	6,000	200	200	0	△5,800	3.3%	
その他管理費	0	0	0	0	0	****	
3. 基本財産繰入	0	6,717	6,717		6,717	****	
一般基金	0	0	0		0	****	
国際交流基金	0	6,717	6,717		6,717	****	
4. 引当金繰入	550,000	591,175	591,175		41,175	107.5%	
退職金引当金	550,000	591,175	591,175		41,175	107.5%	
IAMAP準備金	0	0	0		0	****	
5. 予備費	1,000,000	0	0	0	△1,000,000	0.0%	
当期(純)支出合計	80,799,000	76,885,972	58,487,090	18,398,882	△3,913,028	95.2%	
当期(純)収支差額	△4,082,000	△1,157,321	△3,428,649	2,271,328	2,924,679	****	
税引前次期繰越収支差額	△4,978,283	△2,053,604	△4,483,255	2,429,651	2,924,679	41.3%	
法人税等引当金繰入		800,000		800,000	800,000	****	
収益から公益へ寄付		1,500,000		1,500,000	1,500,000	****	
税引後当期支出合計		79,185,972	58,487,090	20,698,882			
次期繰越収支差額		△2,853,604	△2,983,255	129,651			

損益計算書  
 1,992 年度 1992 年 4 月 1 日 ~ 1993 年 3 月 31 日

損失の部 (円)		利益の部 (円)	
事業支出	11,923,743	事業収入	13,375,737
印刷製本費	10,537,146	気象研究ノート収入	8,933,867
原稿料	238,500	書店扱収入	4,219,670
編集費	335,620	ペーパーズ	222,200
通信運搬費	812,477		
運営基本支出	6,475,139	その他の収入	7,294,473
職員給料	2,789,640	受取利息収入	0
福利厚生費	163,916	別刷収入	2,707,271
臨時雇用賃金	259,270	広告料収入	4,376,750
事務局関連経費	1,922,814	印税・著作権料収入	210,452
パソコン通信	161,968		
電算機開発管理	77,957		
総会・役員会	206,396		
選挙費用	269,765		
支部交付金	623,413		
租税公課	0		
その他	0		
期首棚卸	1,473,038	期末棚卸	2,292,871
費用合計	19,871,920	収入合計	22,963,081
当期税引前利益	3,091,161		
法人税等引当金繰出	800,000		
公益事業に寄付	1,500,000		
前期繰越金	1,631,361		
当期繰越金	2,422,522		

(繰越金には棚卸資産が含まれる)



## 貸借対照表

1,992年度

1993年 3月31日

1992年 4月1日～

勘定科目	合計	内		訳
		公益部門	収益部門	
I 資産の部	(資産合計)	92,281,366	88,421,764	3,859,602
1. 流動資産	31,300,735	28,075,613	3,225,122	
現金	277,207	697,642	△420,435	
普通預金	7,991,611	6,638,925	1,352,686	
郵便振替貯金	3,590,669	3,590,669	0	
公社債信託	15,330,377	15,330,377	0	
(小計)	(27,189,864)	(26,257,613)	(932,251)	
棚卸資産	4,110,871	1,818,000	2,292,871	
2. 固定資産	60,980,631	60,346,151	634,480	
(1) 基本財産	53,322,955	53,322,955		
貸付信託	22,362,955	22,362,955		
公社債信託	30,960,000	30,960,000		
(2) その他	7,657,676	7,023,196	634,480	
金銭信託(退職引当)	1,542,078	1,542,078		
公社債信託(IAMAP)	3,000,000	3,000,000		
什器備品	3,115,598	2,481,118	634,480	
II 負債の部	(負債合計)	34,585,546	33,782,946	802,600
1. 流動負債	30,043,468	29,240,868	802,600	
前受会費	29,194,839	29,194,839		
預り金	46,029	46,029		
法人税等引当金	802,600		802,600	
2. 固定負債	4,542,078	4,542,078		
退職金引当金	1,542,078	1,542,078		
IAMAP準備金	3,000,000	3,000,000		
III 正味財産の部	(当期繰越金)	57,695,820	54,638,818	3,057,002
(うち基本財産)	(53,322,955)	(53,322,955)		
負債および正味財産の合計	92,281,366	88,421,764	3,859,602	

正味財産増減計算書

1,992年度  
1992年4月1日～  
1993年 3月31日

	II 減少の部		(円)		I 増加の部		(円)	
	合計	公益部門	収益部門	合計	公益部門	収益部門		
資産減少額	4,919,804	1,506,830	3,412,974	資産増加額	35,255,372	30,056,693	5,198,679	
基本財産取崩	0	0		当期(純)収支差額	△1,157,321	△3,428,649	2,271,328	
退職金引当金取崩	0	0		基本財産増加額	6,717	6,717		
IAMAP準備金取崩	0	0		退職金引当金繰入	591,175	591,175		
什器備品減価償却費	794,766	354,830	439,936	IAMAP準備金繰入	0	0		
期首棚卸額	2,625,038	1,152,000	1,473,038	什器備品増加	1,009,091	374,611	634,480	
公益事業へ寄付	1,500,000		1,500,000	期末棚卸額	4,110,871	1,818,000	2,292,871	
負債増加額	30,586,014	29,786,014	800,000	前受会費	29,194,839	29,194,839		
退職金引当金繰入	591,175	591,175		収益事業から寄付	1,500,000	1,500,000		
IAMAP準備金繰入	0	0		負債減少額	0	0	0	
前受会費	29,194,839	29,194,839		退職金引当金取崩	0	0		
法人税等引当金繰入	800,000		800,000	IAMAP準備金取崩	0	0		
減少額合計	35,505,818	31,292,844	4,212,974	増加額合計	35,255,372	30,056,693	5,198,679	
当期正味財産増加額	△250,446	△1,236,151	985,705					
(うち基本財産増加額)	(6,717)	(6,717)						
前期繰越正味財産額	57,946,266	55,874,969	2,071,297					
(うち基本財産)	(53,316,238)	(53,316,238)						
期末正味財産合計額	57,695,820	54,638,818	3,057,002					
(うち基本財産)	(53,322,955)	(53,322,955)						

財産目録

1993年 3月 31日 現在

資産総額

92,281,366 円

種類	預入先	金額 (円)	備考
<b>1. 基本財産</b>			
貸付信託	住友信託銀行 日比谷支店	11,750,000	基本金
	〃	6,500,000	山本・正野論文賞
	〃	1,600,000	藤原賞
	〃	600,000	堀内基金
	三井信託銀行 本店	1,912,955	藤原賞
公社債信託	野村証券 銀座支店	25,310,000	国際学術交流基金
	山一証券	5,650,000	堀内基金
	合計	53,322,955	
<b>2. その他の固定資産</b>			
金銭信託	住友信託銀行 日比谷支店	1,542,078	退職給与引当金
公社債信託	住友信託銀行 日比谷支店	3,000,000	IAMAP準備金
什器備品		3,115,598	
	合計	7,657,676	
<b>3. 流動資産</b>			
現金	手元保管	277,207	
普通預金	第一勧業銀行 大手町支店	7,991,611	
	東京銀行	0	
郵便振替預金	中央郵便局	3,590,669	
公社債信託	野村証券 東京支店	7,655,076	
	日興証券 新丸ビル支店	7,675,301	
期末在庫高		4,110,871	
	合計	31,300,735	

## 計算書類に対する注記

1993年3月 31日

1. 重要な会計方針

- 1) 有価証券の評価基準及び評価方法... 総平均法による原価基準を採用している。
- 2) 固定資産の減価償却... 什器備品は、定率法による減価償却を実施している。
- 3) 引当金の計上基準... 退職給与引当金は、期末退職給与の要求額に相当する金額を計上している。
- 4) 資金の範囲... 現金預金、預り金及び前受金を含むこととしている。

なお当期末残高は、2に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額の内容は次の通りである。

科目	当期末残高	公益部門	収益部門
現金	277,207	697,642	△420,435
普通預金	7,991,611	6,638,925	1,352,686
郵便振替貯金	3,590,669	3,590,669	0
公社債信託	15,330,377	15,330,377	0
(合計)	(27,189,864)	(26,257,613)	(932,251)
前受会費	29,194,839	29,194,839	
預り金	46,029	46,029	
法人税等引当金	802,600		802,600
次期繰越収支差額	△2,853,604	△2,983,255	129,651

3. 基本財産の増減及びその残高は次のとおりである。

科目	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本金	0	0	11,750,000
藤原賞	0	0	3,512,955
山本・正野論文賞	0	0	6,500,000
国際学術交流基金	6,717	0	25,310,000
堀内基金	0	0	6,250,000
合計	6,717	0	53,322,955

4. 固定資産の取得価格、減価償却累計額、及び当期末残高は次のとおりである。

科目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	6,599,508	3,483,910	3,115,598
合計	6,599,508	3,483,910	3,115,598

## 社団法人日本気象学会監査報告

社団法人日本気象学会の財産および業務執行の状況を次ぎのとおり報告する。

1. 監査月日  
1993年4月20日
2. 監査場所  
東京都千代田区大手町1-3-4気象庁内  
社団法人日本気象学会事務局
3. 監査帳簿
  - (1) 1992年度収支計算書他
  - (2) 総勘定元帳
  - (3) 財産目録
  - (4) 現金出納帳
  - (5) 預金出納帳
  - (6) 備品代帳
  - (7) 領収書類
  - (8) 預金証書および普通預金通帳
  - (9) 郵便局振替払出通帳
  - (10) 現金書留受領簿
  - (11) 小切手帳および小切手受払簿
  - (12) 1992年度事業報告書
4. 監査内容
  - (1) 1992年度収支計算書およびその他の計算書について、その経理状況を監査すると共に、財政状況を調べた。
  - (2) 上記の帳簿類について、照合を行うと共に、出納状況記載事項の監査を実施した。
  - (3) 学会の運営状況について聴取し、意見を述べた。

## 監査意見

1992年度（1992年4月1日から1993年3月31日まで）の監査を1993年4月20日に学会事務室において実施した。会計に関する帳簿類は照合の結果、正確であり、収支計算書は正しいと認める。

事務局の増員やOA機器の導入により管理業務が効率化し、会費納入が迅速かつ遺漏なく行われ、事務委託費が減少するなど、近年の業務改善の成果が著しい。また、1992年度から実施さ

れた受賞者、各委員会・理事会出席者への旅費支給は、学会活動の活性化に貢献しよう。


経費の増加に対処するため、1993年度から会費が増額されるが、今後も管理事務の効率化に努め、学会活動の発展を図る必要がある。


事業は概ね順調に遂行されている。会員数は、会費未納者の整理にもかかわらず伸び、春季大会・秋季大会の発表件数も増加している。また気象研究ノートの発行は年4冊という平年ベースに戻っている。これらは学会活動が順調に発展していることを示している。ただし、大会での発表者の増加にもかかわらず、気象集誌の投稿数・頁数が漸減していることにたいし、有効な手段を講ずる必要がある。また、機関紙「天気」は、大多数の会員が気象学会とつながりをもつパイプであることから、会員の期待に添うような企画および記述の平易さなど、従来からの努力を今後も継続することを期待する。

社会で大きく取り上げられている気候変動に関連した啓蒙と普及活動、1993年度のIAMAPへ向けた取組みなど、気象学会は国内外共により大きな役割を果たすことが求められている。これらの要請に対処するためには、若い気象学会員の才能を活用するため、役員選挙などの見直しを含む気象学会の体制の改革を押し進める必要がある。

上記の様々な課題に対して、積極的にこの1年取り組んでこられた理事・事務局員の努力を評価したい。

1993年5月6日

監事 多田 一正 

監事 佐藤 信夫 

役員選任に関する定款および細則の一部改正の提案

日本気象学会理事会

日本気象学会の役員は、学会の事業を継承し、且つ発展させるために、学会運営が健全でしかも機能的であるよう、その仕組みについて常に配慮し改善する責務がある。そういう仕組みの中で大きな比重を占めているのは、学会運営を担う理事体制である。理事体制において、理事個人の熱意と責任感は必須としても、理事の数の安定もまた重要な要素である。

これまで日本気象学会は、民主的運営をはかるため、学会役員を選任は全て会員による選挙で行なわれている。この理念は、今後も遵守すべきと考える。しかしながら、民主的運営の実現の方法を選挙という形だけに限定し過ぎると、現行において生じているように、役員として立候補していただける会員の数に限界がみられる状況において、選挙の維持そのものと同時に運営体制の維持への対応が極めて難しい。これを少しでも改善し、学会運営の円滑をはかるために、選挙の他に推薦という方法を理事選任の一部として取り入れることを提案したい。ただし、その推薦は、選挙の当選者の合議によって行なわれ、それを総会に諮って会員の同意を得ることを条件とする。

また、役員の変動やその他の事情で役員に欠員が生じた場合には、これまでそれを補充することが実質上難しく、理事会の機能が危うくなりかけたことが屢々であった。現行では、この問題に対してほとんど対応できないのが実状である。これを改善することも急務

になっているが、前述のような推薦による役員への補充も効果的な方法であると考え。

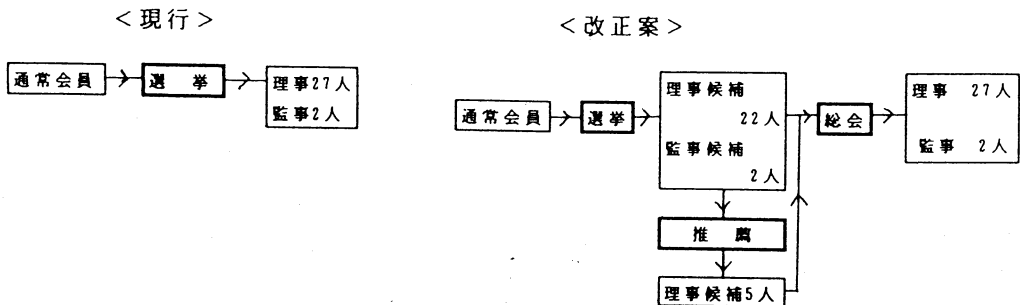
選挙による当選者は、役員候補として会員に選ばれた者と位置付けられ、また、次期理事会の運営の円滑のために必要ならば会員の中から適任者を役員候補として推薦する。そして、当選者と被推薦者は、総会において、役員に就任するための承認を受ける。この様な形で、会員の意志を役員選任に反映させる。

その他、理事定数の地区配分についても見直し、今後の学会運営をなるべく全国規模で行えるよう、地域にこだわらない全国区という新しい区分をもうける。しかし、地域を全く無視するのは問題があるので、従来の地区の概念を残し、その地区の活動が学会全体の活動と有機的に結びつけられるようにする。この場合でも、理事は全国規模の活動と運営に当たるのが基本的性格であり、そして、地域独自の学会活動や運営はその地区の支部が主体的に当たるのが相応しい。このような考えから、各地区からの理事選出枠は沖縄地区を例外として、一定とする。

なお、本改正については、文部省担当官の理解を得て進めている。

以上のような趣旨に基づき、役員を選任を、次に、図式でその概念を示すような方法に改めると共に、関連する定款および細則の一部を改正したい。

役員選任の方法の概念図



## 定款および細則の一部改正案

—1993年度総会提案議題—

日本気象学会第27期理事会

1993年5月18日

## 趣 旨

学会運営の円滑と安定を計るために、役員選任の方法を見直し、これまでの選挙を基礎にしつつ、推薦による役員候補の選出の方法を新たに取り入れ、役員を選任は総会において確定する。併せて、理事定数20～27名に關して、選挙区およびその役員選出の定数配分を見直す。これらの目的で、關連する定款および細則の一部を次のように改正する。

なお、定款改正の關連条項は第14条と第19条で、細則は第7条である。ただし、細則については、本改正に伴い、整合性のために第3章の表題を改め、第6条と第7条の順序を入れ替える。即ち、改正する第7条は新第6条とし、第6条は新第7条とする。

## &lt;現行&gt;

## 定款

第14条 理事および監事は、次に定めるところに従い、通常会員のうちから通常会員の無記名投票によって選挙する。

1. 理事は、細則に定める地区毎の定数を全国の通常会員が選挙する
2. 理事長は、理事会において、理事のうちから選任する
3. 常任理事は理事会において理事のうちから選任する
4. 監事は通常会員の互選で定める

第19条 役員任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

役員に欠員を生じたときは、細則で定める次点者をもって補い、補欠役員の任期は前任者の残任期間とする。

役員は、その任期満了後でも後任者が就任するまでは、なおその職務を行なう

## 細則

第3章 役員選挙ならびに解任

第6条 選挙に際しては、その都度選挙管理委員会をおく。以下、省略。

第7条 理事および監事選挙は次の方法による。

1. 各地区の理事の定数は、各地区の会員数に応じ、次のとおりとする。ただし関東地区については、この法人の事務の円滑な運営をはかるための定数を次のとおり加算する
 

北海道地区（北海道）	2名
東北地区（宮城県、岩手県、青森県、秋田県、山形県、福島県）	2名
関東地区（東京都、神奈川県、千葉県、茨城県、埼玉県、群馬県、栃木県、新潟県、山梨県）	8名 加算分5名
中部地区（静岡県、愛知県、岐阜県、三重県、富山県、石川県、福井県、長野県）	2名
関西地区（大阪府、京都府、滋賀県、和歌山県、奈良県、兵庫県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、香川県、愛媛県、徳島県、高知県）	4名
九州地区（山口県、福岡県、佐賀県、長崎県、大分県、熊本県、宮崎県、鹿児島県）	3名
沖縄地区（沖縄県）	1名
2. 監事は通常会員の中から2名互選される。
3. 通常会員は、理事および監事に立候補することができる。

4. 他の通常会員によって書面により理事および監事に推薦され、かつそれを承認した通常会員は推薦候補となることができる。
5. 理事および監事は、立候補および推薦候補者以外の通常会員からも選挙される。
6. 理事および監事選挙は、それぞれ種類別に連記する無記名文書投票とする。
7. 同一の被選挙通常会員の得票数が有権者総数の10分の1にみえない時は、その被選挙通常会員は役員に就任することができない。
8. 得票者の順序は、被選挙通常会員のうち得票数の多いものを上位とし、同数の者がある場合は年少者を上位とする。
9. 次点者は第7条第7項の条件を満たし、同条第1項の定員外の者とし、その順位は同条第8項に準ずる。

<改正案>

(定款) 第14条 役員は、通常会員の中から、次の方法によって選任する。

1. 理事および監事は、別に定めるところにより総会で選任する。
2. 理事長は、理事会において理事のうちから選任する。
3. 常任理事は、理事会において理事のうちから選任する。
4. 理事と監事は、相互に兼ねることはできない。

(定款) 第19条 役員の任期は2年とする。但し、再任は妨げない。

役員は、その任期満了後も後任者が就任するまでは、なおその職務を行なう。

(細則) 第6条 定款第14条における役員の選任は、次に定める方法による。

1. 以下の地区（全国区を含む）において、それぞれの定数の理事候補者を通常会員による選挙で立候補者の中から選出する。

北海道地区	2名
東北地区	2名
関東地区	2名
中部地区	2名
関西地区	2名
九州地区	2名
沖縄地区	1名
および	
全国区	9名
	合計22名

ただし、各地区に属する都道府県は次のように定める。全国区は全地区を包含する地区とする。

北海道地区（北海道）

東北地区（青森、秋田、山形、岩手、宮城、福島）

関東地区（新潟、群馬、栃木、茨城、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨）

中部地区（長野、静岡、愛知、岐阜、三重、福井、富山、石川）

関西地区（滋賀、京都、大阪、和歌山、奈良、兵庫、岡山、鳥取、島根、広島、香川、愛媛、徳島、高知）

九州地区（山口、福岡、佐賀、長崎、大分、熊本、宮崎、鹿児島）

沖縄地区（沖縄）

2. 監事候補者については、全国区において、2名を通常会員による選挙で立候補者の中から選出する。
3. 理事候補選出の選挙に立候補する者は、その者が所属する地区または全国区の何れかの地区から立候補する。
4. 選挙は、無記名の文書投票によって行う。



5. 理事立候補者に対する投票は、投票者が所属する地区および全国区の2地区について行う。
6. 立候補者の得票数が、その地区における有権者総数の10分の1に満たない場合、その者は役員候補者にならない。
7. 当選者および次点者の順位は、地区ごとに得票数の多い者を上位として定める。
8. 理事長は、理事および監事立候補者の当選者を選挙後の最初の総会に次期役員として提案する。
9. 理事候補の当選者は、合意に基づき、選挙後の最初の総会までに、当選者との合計が最大定数を越えない範囲で、役員候補者を理事長に推薦することができる。理事長は、その者を総会に次期役員として推薦する。
10. 前項において、当選者が推薦できる理事候補者の数は、理事の最大定数の3分の1を越えてはならない。
11. 役員に欠員が生じた場合、選挙における次点者を後任役員候補者とする。前任者の選出地区に次点者がいない場合、理事会の議を経て、理事長は前任者の選出地区から後任役員の候補者を推薦することができる。候補者となった者は、総会で選任されるまでの間、役員に準じて職務を行うことができる。後任役員の任期は前任者の残任期間とする。
12. 第9項および第11項において、連続する2期を越えて同じ者を役員候補に推薦してはならない。

(細則における条項の表題および順序の改正)

- |       |                 |
|-------|-----------------|
| <現行>  | 第3章 役員の選挙ならびに解任 |
| <改正後> | 第3章 役員の選出ならびに解任 |
| <現行>  | 第6条             |
| <改正後> | 第7条             |

## 1993年度事業計画 (案)

- 1 機関誌等の刊行
  - (1) 天気 40巻4号-41巻3号  
主要項目の索引(1982年-1992年)  
を掲載する予定。
  - (2) 気象集誌 71巻2号-72巻1号
  - (3) 気象研究ノート 179号-183号  
予定  
「気象とソリトン・モドン」下  
「海の波と海面境界過程」  
「酸性雨(Ⅱ)」  
「気象ドップラーレーダ」  
「台風予報」
- 2 講演会および研究会
  - (1) 春季大会 1993年 5月17日-19日  
東京 : 竹橋会館, 気象庁  
(担当: 気象庁予報部)  
シンポジウム: *ミスケ*の気象予測  
-展望と課題-
  - (2) 秋季大会 1993年10月26日-28日  
仙台 : 県民会館, 市民会館  
(担当: 東北支部)  
シンポジウム: 大気・陸面過程と  
衛星リモセン  
別に海洋学会と共催のシン  
ポジウム「未定」を開催
  - (3) 研究会、月例会等及び他学会との共催  
等
- 3 普及活動
  - (1) 第27回夏季大学  
1993年 8月4日-5日  
会場: つくば市
  - (2) 関西支部第15回夏季大学  
1993年 7月 - 日
  - (3) 北海道支部第11回夏季大学  
1993年 7月 日
  - (4) 一般公開フォーラム  
1993年 7月15日  
会場: 横浜市
- 4 国際学術交流
  - ・研究会参加補助
- 5 I A M A P ・ I A H S ' 9 3
  - ・開催期間 7月11日~23日(13日間)
  - ・開催場所 横浜国際平和会議場
- 6 パソコン通信
  - ・通信ソフトのバージョンアップ
  - ・データベース検索機能強化

1993年4月1日より  
1994年3月31日まで

1,993年度  
収支予算書(案)

1. 収入の部 (1)

勘定科目	92年度 予算(A)	92年度 決算	93年度 予算(B)	内		増減 (B) - (A)	備考
				公益部門	収益部門		
1. 会費収入							
通常会員	33,844,000	34,840,119	40,477,000	40,477,000		6,633,000	
特別会員	25,026,000	25,071,062	30,219,000	30,219,000		5,193,000	会費値上げ
団体会員	597,000	1,107,582	903,000	903,000		306,000	
賛助会員	5,292,000	5,892,196	6,255,000	6,255,000		963,000	
2. 基本財産運用	2,929,000	2,769,279	3,100,000	3,100,000		171,000	
一般基金	2,602,000	2,710,050	2,438,000	2,438,000		△164,000	
国際交流基金	1,545,000	1,469,260	1,322,000	1,322,000		△223,000	
3. 事業収入	1,057,000	1,240,790	1,116,000	1,116,000		59,000	
天京	34,168,000	32,989,791	38,419,000	11,878,000	26,541,000	4,251,000	
気象集誌	3,900,000	5,119,500	4,750,000	0	4,750,000	850,000	
気象研究ノート	7,400,000	5,496,876	6,032,000	4,098,000	1,934,000	△1,368,000	
予稿集	11,408,000	8,933,867	16,457,000		16,457,000	5,049,000	
大会開催	5,000,000	4,797,744	4,790,000	4,590,000	200,000	△210,000	
教育と普及	1,800,000	1,993,000	1,920,000	1,920,000	0	120,000	
ペーパーズ	700,000	1,229,500	700,000	700,000		0	夏季大学参加費とテキスト
書店扱	0	222,200	0		0	0	92年度より取扱停止
その他事業収入	3,200,000	4,219,670	3,200,000		3,200,000	0	
4. 補助金収入	760,000	977,434	570,000	570,000	0	△190,000	他の刊行物,受託業務
科学研究所	4,080,000	4,080,000	12,080,000	12,080,000		8,000,000	
国際学会論文集補助	4,080,000	4,080,000	4,080,000	4,080,000		0	
5. 寄付金収入	0	8,100	0	0		8,000,000	日本船舶振興会より
寄付金	0	8,100	0	0		0	
募金	0	0	0	0		0	
6. 基本財産取崩収入	0	0	0	0		0	
一般基金	0	0	0	0		0	
国際交流基金	0	0	0	0		0	

会計報告書表  
1993年 4月 1日より  
1994年 3月 31日まで

1,993年度

収支予算書(案)

(社団法人) 日本気象学会

1. 収入の部 (2) (円)

勘定科目	92年度 予算(A)	92年度 決算	93年度 予算(B)	内		増減 (B)-(A)	備考
				公益部門	収益部門		
7. 引当金取崩収入 退職金引当金 IAMAP準備金	932,000 932,000 0	0 0 0	3,000,000 0 3,000,000	3,000,000 0 3,000,000		2,068,000 △932,000 3,000,000	
8. 雑収入 受取利息 印税・著作権料 その他	1,091,000 971,000 120,000 0	1,100,591 583,339 210,452 306,800	680,000 560,000 120,000 0	560,000 560,000 120,000 0	120,000 120,000 0 0	△411,000 △411,000 0 0	引当金準備金、運用財産
当期収入合計	76,717,000	75,728,651	97,094,000	70,433,000	26,661,000	20,377,000	
前期繰越収支差額	△896,283	△896,283	△2,853,604	△2,983,255	129,651	△1,957,321	
収入合計	75,820,717	74,832,368	94,240,396	67,449,745	26,790,651	18,419,679	

2. 支出の部 (1) (円)

勘定科目	92年度 予算(A)	92年度 決算	93年度 予算(B)	内		増減 (B)-(A)	備考
				公益部門	収益部門		
I. 事業費 天気 印刷製本費 編集委員会費 通信運搬費 気象集誌	54,468,000 23,426,000 18,506,000 1,200,000 3,720,000 10,816,000	51,916,172 24,156,851 19,651,700 1,200,000 3,305,151 11,352,959	66,675,000 24,459,000 19,954,000 1,200,000 3,305,000 11,189,000	52,182,000 21,024,000 16,604,000 1,200,000 3,220,000 10,239,000	14,493,000 3,435,000 3,350,000 85,000 950,000 830,000	12,207,000 1,033,000 1,448,000 0 △415,000 373,000	カラー一頁、気象手引、主要項目索引 予定頁数は800
印刷製本費 編集委員会費 校正料 通信運搬費	7,582,000 1,289,000 630,000 1,315,000	8,465,131 1,289,000 469,025 1,129,803	8,230,000 1,289,000 500,000 1,170,000	7,400,000 1,289,000 500,000 1,050,000	830,000 0 0 120,000	648,000 0 △130,000 △145,000	

## 収支予算書(案)

会計報告書表

1,993年度

1993年4月1日より

1994年3月31日まで

## 2. 支出の部(2)

勘定科目	92年度 予算(A)	92年度 決算	93年度 予算(B)	内		増減 (B)-(A)	備考
				公益部門	収益部門		
気象研究ノート	10,775,000	7,427,273	10,027,000		10,027,000	△748,000	179号から183号を発行予定
印刷製本費	8,880,000	6,236,041	7,590,000		7,590,000	△1,290,000	
編集委員会費	595,000	335,620	500,000		500,000	△95,000	
原稿料	800,000	238,500	1,320,000		1,320,000	520,000	
通信運搬費	500,000	617,112	617,000		617,000	117,000	
予備費	2,436,000	2,562,063	2,560,000	2,479,000	81,000	124,000	
印刷製本費	2,005,000	2,075,343	2,074,000	1,993,000	81,000	69,000	
通信運搬費	431,000	486,720	486,000	486,000	0	55,000	
大会開催	3,002,000	2,492,098	3,392,000	3,392,000		390,000	
春秋大会	2,700,000	2,181,538	3,170,000	3,170,000		470,000	本部からの補助金
その他会合	152,000	160,560	152,000	152,000		0	地球科学シンポジウム他
講演企画委	150,000	150,000	70,000	70,000		△80,000	若手会補助を含む
教育と普及	745,000	995,618	970,000	970,000		225,000	
委員会	150,000	150,000	150,000	150,000		0	
夏季大学開催	195,000	221,618	220,000	220,000		25,000	会場費、設営費、印刷費
支部夏季大学補助	0	0	200,000	200,000		200,000	支部開催の夏季大学を補助
夏季大学テキスト	400,000	624,000	400,000	400,000		0	(北海道、関西)
ペーパーズ	0	30,581	0		0	0	
表彰・奨励	1,152,000	1,208,490	1,330,000	1,330,000		178,000	
賞金	910,000	710,000	910,000	910,000		0	
委員会	127,000	102,945	120,000	120,000		△7,000	
雑費	115,000	395,545	300,000	300,000		185,000	
国際学術交流	1,220,000	739,730	1,320,000	1,320,000		100,000	
参加旅費補助	1,200,000	720,000	1,100,000	1,100,000		△100,000	
交流事業	0	0	200,000	200,000		200,000	
委員会費	20,000	19,730	20,000	20,000		0	

収支予算書(案)

(社団法人) 日本気象学会

2. 支出の部(3) (円)

勘定科目	92年度 予算(A)	92年度 決算	93年度 予算(B)	内		増減 (B)-(A)	備考
				公益部門	収益部門		
研究連絡会	120,000	90,000	250,000	250,000		130,000	
IAMAP運営委員会	776,000	860,509	1,178,000	1,178,000		402,000	
その他事業費	0	0	10,000,000	10,000,000	0	10,000,000	IAMAP
受託業務費	0	0	0	0		0	
国際学会論文集	0	0	10,000,000	10,000,000		10,000,000	
その他	0	0	0	0		0	
2. 管理費	24,781,000	24,371,908	24,421,000	17,642,250	6,778,750	△360,000	収益収入比率 25.00%
人件費	12,339,000	12,851,303	13,315,000	9,986,250	3,328,750	976,000	
職員給料	10,871,000	11,158,559	11,875,000	8,906,250	2,968,750	1,004,000	
福利厚生費	675,000	655,664	630,000	472,500	157,500	△45,000	
臨時雇用賃金	793,000	1,037,080	810,000	607,500	202,500	17,000	
退職金	932,000	0	0	0		△932,000	
事務局関連経費	5,966,000	6,162,420	6,350,000	4,087,500	2,262,500	384,000	
賃借料	800,000	767,520	800,000	600,000	200,000	0	
光熱水料	180,000	216,176	230,000	172,500	57,500	50,000	
消耗品	462,000	672,091	762,000	571,500	190,500	300,000	
什器備品	600,000	1,009,091	1,300,000	300,000	1,000,000	700,000	事務器,計算機,その他
借料(レンタル料)	210,000	200,652	218,000	163,500	54,500	8,000	
通信運搬費	1,210,000	1,004,320	1,000,000	750,000	250,000	△210,000	郵便,電話
印刷製本費	700,000	1,022,990	700,000	525,000	175,000	0	封筒,雑誌製本,総会資料
旅費交通費	10,000	3,080	10,000	7,500	2,500	0	
会議費	10,000	8,000	10,000	7,500	2,500	0	
庶用費・交際費	100,000	94,530	100,000	75,000	25,000	0	
手数料	300,000	242,943	250,000	187,500	62,500	△50,000	振込手数料など
事務委託費	1,000,000	593,527	600,000	450,000	150,000	△400,000	発送,会費請求,入金
諸会費・謝金	284,000	257,500	300,000	225,000	75,000	16,000	会計士,公益法人,労災保険
その他	100,000	70,000	70,000	52,500	17,500	△30,000	

## 収支予算書(案)

会計報告書表

1,993年度

1993年4月1日より

1994年3月31日まで

(円)

## 2. 支出の部(4)

勘定科目	92年度 予算(A)	92年度 決算	93年度 予算(B)	内		増減 (B)-(A)	備考
				公益部門	収益部門		
パソコン通信	643,000	647,870	660,000	495,000	165,000	17,000	
電算機開発管理	700,000	311,826	350,000	262,500	87,500	△350,000	会員デ-タベ-ス、会計事務
総会・役員会	875,000	825,581	880,000	660,000	220,000	5,000	
選挙費用	800,000	1,079,058	440,000	330,000	110,000	△360,000	投票用紙、管理委員会(93年度は
支部交付金	2,520,000	2,493,650	2,420,000	1,815,000	605,000	△100,000	会員名簿は作成しない
租税公課	6,000	200	6,000	6,000	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	返却金等
3. 基本財産繰入	0	6,717	0	0		0	
一般基金	0	0	0	0		0	
国際交流基金	0	6,717	0	0		0	
4. 引当金繰入	550,000	591,175	550,000	550,000		0	
退職引当金	550,000	591,175	550,000	550,000		0	
IAMAP準備金	0	0	0	0		0	
5. 予備費	1,000,000	0	1,000,000	750,000	250,000	0	
当期支出合計	80,799,000	76,885,972	92,646,000	71,124,250	21,521,750	11,847,000	
当期(純)収支差額	△4,082,000	△1,157,321	4,448,000	△691,250	5,139,250	8,530,000	
税引前次期繰越収支差額	△4,978,283	△2,053,604	1,594,396	△3,674,505	5,268,901	6,572,679	